

TAKAFUMI ASAKURA

朝倉隆文



神話と現世、写実と抽象。対峙する虚実を突く不屈の日本画家・朝倉隆文さんの作品は、墨ひとつで無限を現す。その画風が併せ持つ緻密な筆捌きと豪放な構図は世界を唸らせ、作品を待つコレクターは後を絶たない。

朝倉隆文さんとの出会いは13年ほど前。朝倉さん29歳、私は28。しかし、一見してこの髭と長髪と真っ黒の燕尾服に身を纏った人物に心を奪われた。この方は只者ではない、と。そもそも、何をされているのかは全く見当もつかなかった。なにせ、初対面の場所は父主宰の社交ダンスの会。飄々と宴の司会進行を務め、しまいに和田アキコばりにオオトリとして再登場、蝶々夫人を原語で熱唱された。もちろん、観客も私も彼の世界観の虜となった。後に朝倉さんが日本画家と知り、作品を見て頷けた。やはり只者ではない、と。あれから6年後。世界屈指のアートフェアTEFAFより会期直前に連絡が入り、西福が急遽参加することが決まった。会期まで1ヶ月もない中、梱包輸送と通関を考えると、作家に作品を制作してもらうのは困難。いま、目玉となるべき作品は何か。そうだ。朝倉さんのアルミ屏風があるじゃないか。偶然にも、会期1ヶ月前にその四曲の大作が完成しており、行先もなく、とにかく未来を見据えて描いてもらっていた。備えあれば憂いなし。結局この作品が私たちの転機となり、過去最高値を付けながらも、瞬く間に売約となった。会場で売れる瞬間を目の当たりにした朝倉さんの目には涙が。あの日を境に、私の根拠のない自信が確信へと変わった。たとえ無名の存在であっても、私たちは実力で世界を相手に勝負が出来る。そう、朝倉さんとなら。遥かマーストリヒトの地にて、二人の未来を見た。

プロフィール

- 1978: 横浜に生まれる
- 2000: 多摩美術大学絵画日本画科卒業（美術学部）
- 2002: 多摩美術大学大学院修士課程修了（博士課程前期）
日展初入選
- 2003: 日春展初入選
- 2012: 第44回日展 特選受賞
- 2014: 第46回日展 特選受賞
- 2015: 改組 新 第2回日展審査員 他、個展グループ展多数
公益社団法人 日展 正会員

主な個展

- 2003: シロタ画廊
- 2010: 西福（東京）（'11, '12）
- 2014: Galerie Pierre Bonnefille（フランス・パリ）
- 2017: Serindia Gallery（タイ・バンコク）
- 2018: 泰明画廊（東京）

主なグループ展・企画・公募展など

- 2010: 第29回 損保ジャパン美術財団選抜奨励展
（東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館）
- 2012: アートフェア東京（東京国際フォーラム）（'13, '21）
- 2013: TEFAF Maastricht（オランダ・マーストリヒト）（'14, '15, '16, '17, '18, '19, '20）
- 2014: Asia Week New York（米・ニューヨーク）
Art Miami（米・マイアミ）（'15, '16, '17, '18, '19）
- 2015: Art Silicon Valley/San Francisco（サンフランシスコ）
- 2016: Spring Masters New York（米・ニューヨーク）
EAF Monaco（モナコ）
西福ギャラリー ロンドンPop-Up展（英・ロンドン）（'17）
- 2017: TEFAF New York Spring（ニューヨーク）
- 2018: Seattle Art Fair（米・シアトル）（'19）
- 2019: West Bund Art and Design（'20）

パブリックコレクション

- スペンサー美術館（アメリカ）
- フランシズ・リーマン・ロープ・アート・センター（アメリカ）
- ミネアポリス日本美術・文化研究センター（アメリカ）
- ハワイ大学・ザ・ケネディー・シアター（アメリカ）
- 岡村天満宮（神奈川県）
- お三ノ宮日枝神社（神奈川県）
- 初沢山 高尾天神社（東京都）
- 成就山 浅川金刀比羅大権現（東京都）

コミッションワーク

- ホテル ザ 三井京都「四季の間」襖絵 / 京都